

北海道大学 日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」において講義を行いました。



平成29年9月4日に北海道大学の日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」（通称：RJE3プログラム）に参加している日本人及びロシア人学生13名が北海商科大学教授・北海道大学客員教授の田村亨教授の引率により北海道開発局を訪れました。

このプログラムは、北海道大学が極東ロシアの基幹5大学（極東連邦大学、北東連邦大学、イルクーツク国立大学、太平洋国立大学、サハリン国立大学）とともに、極東・北極圏、特にロシアにおける課題解決方法を分野横断的に学び、持続可能な環境・文化・開発を牽引する高度職業人として活躍する専門家を育成するための国際連携教育システムの構築を目指して実施しているものです。



講義の様子



質問するロシア人学生

北海道開発局への訪問は平成27年度から連続して3回目となり、開発計画課長から、北海道総合開発計画や北海道開発予算、これまでの北海道開発の成果などを説明いたしました。

講義終了後は、学生達から、日本の行政における市民の同意形成のあり方や、人口問題、先進技術が労働市場に与える影響など幅広い内容で質問が寄せられるとともに、ロシアの社会問題についても紹介があり、活発な意見交換が行われるなど、当局にとりましても非常に有意義な時間となりました。